

地域リハビリテーション支援事業 実施計画書

資料6-1

I 事業実施体制等				
1	医療機関名			
		社会医療法人社団 医善会 いずみ記念病院		
2	二次保健医療圏名			
		区東北部		
3	事業実施予定年月日			
		平成29年4月1日から平成32年3月31日まで		
4	事業実施予定地域 ※区市町村名を記入してください			
	二次保健医療圏内	二次保健医療圏外		
		足立区・荒川区・葛飾区		
5	地域リハビリテーション支援センターの運営体制（予定）			
	設置場所	社会医療法人社団 医善会 いずみ記念病院		
	職種・人数 (H29.4.1現在)	<ul style="list-style-type: none"> ・医師 常勤： 名 非常勤： 1 名 （うちリハ専門医） 常勤： 名 非常勤： 1 名 ・理学療法士 常勤： 1 名 非常勤： 名 ・作業療法士 常勤： 3 名 非常勤： 名 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語聴覚士 常勤： 1 名 非常勤： 名 ・ソーシャルワーカー等 常勤： 1 名 非常勤： 名 ・事務職員 常勤： 名 非常勤： 1 名 ・その他 常勤： 名 非常勤： 名 	
	予定する連携施設 ※連携施設が複数ある場合は、別紙による説明可			
	連携予定	連携予定施設名称・所在地・連携内容		
有	(医療・介護施設名)	(所在地)	(連携内容)	
(無)				
7	予定する協力施設 ※協力施設が複数ある場合は、別紙による説明可			
	協力予定	協力予定施設名称・所在地・連携内容		
	有	(医療・介護施設名)	(所在地)	(協力内容)
無	<ul style="list-style-type: none"> 東京慈恵会医科大学附属病院 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 東京女子医科大学東医療センター 介護老人保健施設 いずみ いずみ通所リハビリテーション本木 いずみ居宅介護支援 いずみ訪問介護 いずみ訪問看護ステーション 	<ul style="list-style-type: none"> 港区 葛飾区 荒川区 足立区 足立区 足立区 足立区 足立区 	<ul style="list-style-type: none"> 講師派遣、訓練士の教育研修受け入れ 講師派遣 講師派遣 支援事業の企画・運営 支援事業の企画・運営 支援事業の企画・運営 支援事業の企画・運営 支援事業の企画・運営 	

【都におけるリハビリテーション医療推進の方向性（東京都保健医療計画）】

＜計画期間：平成25年4月1日から平成30年3月31日まで＞

地域リハビリテーション支援体制の充実

今後の更なる高齢化の進展に伴う地域リハビリテーションの重要性を踏まえ、平成23年度から各地域リハビリテーション支援センターが実施している次の3つを柱とした事業をより充実・強化

地域リハビリテーション提供体制の強化

現場経験が不足する若手理学療法士等の技術等の底上げを図るとともに、地域のかかりつけ医へ各地域リハビリテーション支援センターが得意とする実践的なリハビリテーションに係る知識・技術情報を提供

訪問・通所リハビリテーションの利用促進

訪問又は通所リハビリテーション事業所に対して介護支援専門員との意見交換の場を提供するとともに、介護支援専門員に対してリハビリテーションの知識・技術等に関する研修を実施することにより、訪問・通所リハビリテーションの利用促進

地域リハビリテーション関係者の連携強化

地域リハビリテーション施設、自治体、関係団体等が参画する連絡会を開催し、現状の課題等について意見交換と情報共有を行い、地域リハビリテーションに関わる施設等の連携を推進

II 事業目標（平成29年度から平成31年度まで）

地域リハビリテーション支援センターとしての取組方針（全体目標）

地域の新人セラピストやリハビリテーション（以下、リハビリ）関係職種を対象として、地域におけるリハビリの実践に係わる知識と技術の向上を目的に、研修会および事例検討会、職種間連携をテーマにした意見交換や交流会などを開催する。さらに地域リハビリをテーマにした日々の取り組みや研究を発表できる場を提供し、実践方法の共有とネットワーク構築の基盤を作る。

圏域の地域リハビリテーション協議会を開催し、地区医師会や障害者福祉センター、行政との関係を構築するとともに、地域で展開されるさまざまな事業や取り組みなどへ参加するなど、活動範囲を広げる。このような取り組みを通じて当センターの存在を地域へ周知し、広域派遣アドバイザーの体制づくり、相談支援機関としての機能の更なる充実を図る。

※各項目の取組目標は次頁以降に記載

II 事業実施内容等（必須の役割） ※全センター共通

スペースが足りない場合は、別紙での説明可

地域リハビリテーション力の向上							
1	取組目標 (1) 研修会ならびに事例検討などを通じて、地域のリハビリにおける関係職種の知識と技術の向上を図る。また、臨床および地域において発生するさまざまな課題に対して、安心して取り組めるよう相談支援機関として機能する。						
	OT・PT・ST等対象の症例発表会など【連携施設の活用可】						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施予定回数</th> <th>テーマ（予定）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7 回／29年度</td> <td>テーマとしては、歩行、摂食・嚥下、作業科学、リスク管理などを中心に講義形式の研修会とし、テーマによってグループワークを取り入れる。事例検討会は年2回程度行う予定である。</td> </tr> <tr> <td>14 回 (平成30・31年度)</td> <td>上記に加え、実技を中心とした研修、地域の関係職種による実践事例などの研究発表を取り入れるとともに、経験者向けの研修会を企画する。事例検討会は年3回程度行う予定である。</td> </tr> </tbody> </table>	実施予定回数	テーマ（予定）	7 回／29年度	テーマとしては、歩行、摂食・嚥下、作業科学、リスク管理などを中心に講義形式の研修会とし、テーマによってグループワークを取り入れる。事例検討会は年2回程度行う予定である。	14 回 (平成30・31年度)	上記に加え、実技を中心とした研修、地域の関係職種による実践事例などの研究発表を取り入れるとともに、経験者向けの研修会を企画する。事例検討会は年3回程度行う予定である。
	実施予定回数	テーマ（予定）					
	7 回／29年度	テーマとしては、歩行、摂食・嚥下、作業科学、リスク管理などを中心に講義形式の研修会とし、テーマによってグループワークを取り入れる。事例検討会は年2回程度行う予定である。					
	14 回 (平成30・31年度)	上記に加え、実技を中心とした研修、地域の関係職種による実践事例などの研究発表を取り入れるとともに、経験者向けの研修会を企画する。事例検討会は年3回程度行う予定である。					
	かかりつけ医へのリハビリテーション知識・技術情報提供【連携施設の活用可】						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施予定回数</th> <th>テーマ（予定）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 回／29年度</td> <td>ケアマネジャーをはじめとした地域の関係職種と医師の協働をテーマとし、実際に在宅生活においてリハビリを導入した事例などを取り上げ、実践で役立つ研修を企画する。</td> </tr> <tr> <td>2 回 (平成30・31年度)</td> <td>上記同様</td> </tr> </tbody> </table>	実施予定回数	テーマ（予定）	1 回／29年度	ケアマネジャーをはじめとした地域の関係職種と医師の協働をテーマとし、実際に在宅生活においてリハビリを導入した事例などを取り上げ、実践で役立つ研修を企画する。	2 回 (平成30・31年度)	上記同様
	実施予定回数	テーマ（予定）					
	1 回／29年度	ケアマネジャーをはじめとした地域の関係職種と医師の協働をテーマとし、実際に在宅生活においてリハビリを導入した事例などを取り上げ、実践で役立つ研修を企画する。					
2 回 (平成30・31年度)	上記同様						
地区医師会や地域の関係団体（医療・介護）との連携・協力予定の有無							
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>○有 ・ 無</td> <td> (団体・施設名) 足立区・荒川区・葛飾区医師会 区中央部地域リハビリテーション支援センター </td> </tr> </tbody> </table>	○有 ・ 無	(団体・施設名) 足立区・荒川区・葛飾区医師会 区中央部地域リハビリテーション支援センター					
○有 ・ 無	(団体・施設名) 足立区・荒川区・葛飾区医師会 区中央部地域リハビリテーション支援センター						
これまでの取組状況 (4) 平成28年度は4月～12月までに計8回の研修会を主催し、参加者は延べ331名であった。参加者からは、事例検討や実技を中心とした研修会を望む声が強かった。（アンケートより）定期的な参加を促すため、開催する曜日や時間、会場はなるべく固定としたが、参加状況に地域の偏りが見られたため、今後は開催する地域について検討が必要と考える。							
2	訪問・通所リハビリテーション分野への支援						
	取組目標 (1) 地域で活動する専門職の役割を相互に理解するための機会を設け、必要な連携がとれるように働きかける。また、地域におけるリハビリ資源についての情報を発信する。						
	リハ施設従事者とケアマネジャーとの交流の場の設定【連携施設の活用可】						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施予定回数</th> <th>取組予定内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2 回／29年度</td> <td>職種間の共通のテーマとなる住宅改修や福祉用具の選定などについて、研修会を通して情報を伝達するとともに、地域の関係職種間で意見交換を行う場を提供する。</td> </tr> <tr> <td>4 回 (平成30・31年度)</td> <td>上記同様</td> </tr> </tbody> </table>	実施予定回数	取組予定内容	2 回／29年度	職種間の共通のテーマとなる住宅改修や福祉用具の選定などについて、研修会を通して情報を伝達するとともに、地域の関係職種間で意見交換を行う場を提供する。	4 回 (平成30・31年度)	上記同様
	実施予定回数	取組予定内容					
	2 回／29年度	職種間の共通のテーマとなる住宅改修や福祉用具の選定などについて、研修会を通して情報を伝達するとともに、地域の関係職種間で意見交換を行う場を提供する。					
	4 回 (平成30・31年度)	上記同様					
ケアマネジャーへの研修【連携施設の活用可】							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施予定回数</th> <th>取組予定内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2 回／29年度</td> <td>ケアマネジャーを対象に地域リハビリをテーマとした研修会を実施する。内容はニーズが高かった嚥下、栄養、高次脳機能障害などを考えている。</td> </tr> <tr> <td>4 回 (平成30・31年度)</td> <td>上記同様</td> </tr> </tbody> </table>	実施予定回数	取組予定内容	2 回／29年度	ケアマネジャーを対象に地域リハビリをテーマとした研修会を実施する。内容はニーズが高かった嚥下、栄養、高次脳機能障害などを考えている。	4 回 (平成30・31年度)	上記同様	
実施予定回数	取組予定内容						
2 回／29年度	ケアマネジャーを対象に地域リハビリをテーマとした研修会を実施する。内容はニーズが高かった嚥下、栄養、高次脳機能障害などを考えている。						
4 回 (平成30・31年度)	上記同様						
地区医師会や地域の関係団体（医療・介護）との連携・協力予定の有無							
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>○有 ・ 無</td> <td> (団体・施設名) 足立区衛生部、荒川区福祉部高齢者福祉課、葛飾区福祉部高齢者支援課 </td> </tr> </tbody> </table>	○有 ・ 無	(団体・施設名) 足立区衛生部、荒川区福祉部高齢者福祉課、葛飾区福祉部高齢者支援課					
○有 ・ 無	(団体・施設名) 足立区衛生部、荒川区福祉部高齢者福祉課、葛飾区福祉部高齢者支援課						

(4)	ケアプラン相談支援【連携施設の活用可】	
	相談受付方法	相談受付日・時間
	電話・FAX・メール	月曜～土曜日 9:00～17:00
2	これまでの取組状況	
	平成28年度は2回の研修会および交流会を実施した。また、当センターの機能ならびに相談支援に関する概要資料を作成し、主催の研修会、講師派遣を行った研修会、参加した会議などで説明するなど情報提供を行った。	
	平成28年度上半期（4月～9月）のケアプラン相談支援受付実績	
(5)	7件	

地域リハビリテーション関係者との連携強化		
(1)	取組目標	
	地域リハビリを展開する上で、地区医師会、行政、障害者福祉センターなどと顔の見える関係を構築し、良好なコミュニケーションを図る。さらに当センターの機能と役割についての理解を促すと同時に、地域リハビリにおけるシステム化を目指す。	
3	設置を予定する地域協議会（連絡会）	
	名称	参加予定機関・施設（参加予定職種）
	実施予定回数	
(2)	区東北部地域リハビリテーション協議会	足立区・荒川区・葛飾区医師会 足立区・荒川区・葛飾区役所担当課 足立区・荒川区・葛飾区心身障害者福祉センター
		1回／29年度 3回（3年間計）
(3)	これまでの取組状況	
	協議会立ち上げに向け、平成28年7月に準備会を開催した。（平成29年3月第1回開催予定）準備会では当センターの実績を報告するとともに、地域のリハビリについてそれぞれの立場で意見交換を行った。円滑な地域リハビリを行うにあたっての事業所間連携、情報共有のシステム作りが今後の課題として認識された。	

若手理学療法士及び作業療法士の実務研修受入		
(1)	取組目標	
	当センターが所属する医療機関の特色を生かし、急性期・回復期・維持期の各病期を念頭においた、リハビリ計画を立てることができるような研修計画を立てる。一方で、研修日数が限られているため、参加者の個別のニーズについても柔軟に対応する。	
4	受入予定人数	研修内容（予定）
	24人／29年度	回復期リハビリを主軸に実施する。なお、急性期および維持期との連携を重視し、当センターの所属する医療機関のみならず、関連する介護保険事業所においても研修を行う。
	48人 (平成30・31年度)	上記同様。

Ⅲ 事業実施内容等（選択する役割） スペースが足りない場合は、別紙での説明可

区市町村による在宅リハ支援事業等への支援 ※地域リハ支援事業委託料からの支出不可		
支援予定	実施自治体名	支援内容
有 無	足立区、荒川区 葛飾区	障害者福祉センターや地域包括支援センター、地域リハビリに関連する団体が主催する研修会などへの講師派遣を行う。
1	これまでの取組状況	
	地域リハビリをはじめとして、高次脳機能障害、摂食・嚥下などのテーマについて、講師派遣を行った。また当センターが主催する研修会において、障害福祉センターなどの機能について参加者に説明した。	

脳卒中医療連携推進事業への支援 ※地域リハ支援事業委託料からの支出不可				
2	支援予定	支援内容		
	有 <input type="radio"/> 無			
	これまでの取組状況			
高次脳機能障害のリハビリテーション事業への支援 ※地域リハ支援事業委託料からの支出不可				
3	支援予定	支援内容		
	<input checked="" type="radio"/> 有 無	足立区 障害福祉センター「あしすと」が開催する講演会への講師派遣 葛飾区 障害福祉センター「ウエルピアかつしか」が開催する講演会、 事例検討会への講師派遣 荒川区 障害福祉センター「たんぼぼセンター」が開催する講演会への スタッフ派遣		
	これまでの取組状況			
平成27年度は計5回の講師派遣を行った。今年度も依頼があり、同様に活動を行っている。				
介護予防における地域リハビリテーション促進事業への支援 ※地域リハ支援事業委託料からの支出不可				
4	支援予定	支援内容		
	<input checked="" type="radio"/> 有 無	主に地域包括支援センターなどが主催する介護予防教室などからの 講師派遣依頼に対応する。		
	これまでの取組状況			
地域包括支援センターが主催した介護予防教室において口腔ケアの研修会を行った。 今後も要請に応じて対応するとともに、新たなニーズの開拓を行う。				
地域で特にニーズの高いテーマに関する研修等（その1）				
5	区分		実施予定	予定有とした項目については次頁も記入
	(1)	地域のリハビリテーション従事者の研修、援助	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	
	(2)	直接地域住民と接する相談機関の支援	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	
	(3)	福祉用具、住宅改修等の相談への対応に係る支援	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	
	(4)	地域の関係団体の支援	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	
	(5)	連絡会、事例検討会の実施	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	
	(6)	その他、地域のリハビリテーションの推進に必要な事業	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	

地域で特にニーズの高いテーマに関する研修等（その2）

地域のリハビリテーション従事者の研修、援助					
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数
(1)	リハビリにおける評価、介入方法、ポジショニングなどの実技、症例を通じた研修会の開催など	講演、グループワーク、演習などを通じて、地域リハビリの現場で活用できる知識や技術を発信する。	研修会 症例検討	リハビリに係る全職種	21回 (3年間)
これまでの取組状況					
新人セラピスト向け研修会、地域リハビリ従事者向け研修会などを開催した。					
直接地域住民と接する相談機関の支援					
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数
(2)	対応に難渋する症例の支援	対応に難渋した場合に、センターへ相談することができるように窓口を明確化し、周知する。	電話やメール、FAXでの受付。必要に応じて訪問対応。	行政 地域包括支援センター 障害福祉センター	随時 (3年間)
これまでの取組状況					
いつでも相談を受けられるように、固定設置電話に加えて転送電話を用意するとともに、スタッフを配置した。しかし件数が少ないため、現状で周知が不足していると思われる。					
福祉用具、住宅改修等の相談への対応に係る支援					
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数
(3)	生活状況に合わせた適切な福祉用具の選定	患者・利用者の状態に合わせて、他職種と福祉用具選定の検討をすることができる	多職種が参加できる福祉用具・装具の実技形式の研修会。センターでの相	リハビリに係る全職種	研修会検討中 相談随時 (3年間)
これまでの取組状況					
相談実績としてはまだ少ない。研修会などについては今後開催予定である。					
地域の関係団体の支援					
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数
(4)	高次脳機能障害に対する理解と対処方法を知る	研修会や講師派遣を通じて、高次脳機能障害への理解を促す	講演会 グループワーク	リハビリに係る全職種	3回 (3年間)
これまでの取組状況					
主に講師派遣を行った。参加者からは良好な評価を得られており、今後も継続する。また同時に、新しいテーマの発掘に努める。					
連絡会、事例検討会の実施					
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数
(5)	関係機関との情報共有方法の確立および難渋例に対する事例検討の要望があった	協議会の開催 定期的な事例検討会	協議会での意見交換	リハビリに係る全職種	6回 (3年間)
これまでの取組状況					
協議会開催に向けて、準備会を発足した。事例検討会は当センターが主催した2回に加え、心身障害福祉センターと共同で、高次脳機能障害をテーマにした検討会を実施した。					
その他、地域のリハビリテーションの推進に必要な事業					
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数
(6)	リハビリに係る地域の資源情報の把握と連携の強化	地域資源の調査と情報の発信	ホームページ、ファックスによる情報発信および相談支援	リハビリに係る全職種	随時 (3年間)
これまでの取組状況					
協力医療機関や地域のリハビリ関連機関からの研修案内などの情報を発信している。今後は、地域リハビリに関連する事業などの情報を、独自にまとめる予定である。 (地域リハマップの作成)					

地域リハビリテーション支援センター指定（平成29年4月）に係る調査票

医療機関名： いずみ記念病院

記入年月日：平成28年12月26日

1 病院の概要	
所在地	東京都足立区本木1-3-7 (区東北部 医療圏)
開設年月日	平成 17 年 12 月 1 日
設置目的	<p>法人理念 まじめでひたむきに行動します</p> <p>基本方針 親切でよりよい医療と介護を目指し、トータルファミリーケアサービスを提供します。 医療スタッフによる説明と利用者の選択に基づく医療と介護を提供します。 個人情報尊重し、利用者自身に提供します。 利用者の人生が最後まで豊かであるように、その意思を尊重します。 公正な医療と介護を行うように、研鑽、研修に励みます。</p> <p>上記理念、基本方針に基づき地域における救急医療、災害医療、リハビリテーションに力を注いでいる。</p>
診療科目	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科、消化器内科、消化器外科、呼吸器内科、循環器内科、乳腺外科、リウマチ科、眼科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、脳神経外科、麻酔科、救急科
指定医療	生活保護医療、結核医療、労災医療
病床数	一般病床 54 床 (療養病床 90 床 うちリハビリ専門病床 90 床) 計 144 床
訪問・通所リハビリ	<input checked="" type="checkbox"/> 訪問リハビリ (<input type="checkbox"/> 医療保険 <input checked="" type="checkbox"/> 介護保険) <input checked="" type="checkbox"/> 通所リハビリ (介護保険)
併設施設	通所リハビリテーション 訪問看護ステーション

2 指定要件の充足状況

① 診療体制																																																													
地域におけるリハビリテーションの拠点病院としての役割を果たすことのできる専門的医療体制を有すること																																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">平成27年度</th> <th colspan="2">平成28年度 (4月から9月まで)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">医療従事者</td> <td rowspan="2">専従医師</td> <td>常勤</td> <td>1 名</td> <td>常勤</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>非常勤</td> <td>1 名</td> <td>非常勤</td> <td>2 名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(うちリハ専門医)</td> <td>常勤</td> <td>1 名</td> <td>常勤</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>非常勤</td> <td>1 名</td> <td>非常勤</td> <td>2 名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">理学療法士</td> <td>常勤</td> <td>37 名</td> <td>常勤</td> <td>39 名</td> </tr> <tr> <td>非常勤</td> <td></td> <td>非常勤</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">作業療法士</td> <td>常勤</td> <td>12 名</td> <td>常勤</td> <td>13 名</td> </tr> <tr> <td>非常勤</td> <td></td> <td>非常勤</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">言語聴覚士</td> <td>常勤</td> <td>5 名</td> <td>常勤</td> <td>4 名</td> </tr> <tr> <td>非常勤</td> <td></td> <td>非常勤</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ソーシャルワーク従事者</td> <td>常勤</td> <td>5 名</td> <td>常勤</td> <td>6 名</td> </tr> <tr> <td>非常勤</td> <td></td> <td>非常勤</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		平成27年度		平成28年度 (4月から9月まで)		医療従事者	専従医師	常勤	1 名	常勤	1 名	非常勤	1 名	非常勤	2 名	(うちリハ専門医)	常勤	1 名	常勤	1 名	非常勤	1 名	非常勤	2 名	理学療法士	常勤	37 名	常勤	39 名	非常勤		非常勤		作業療法士	常勤	12 名	常勤	13 名	非常勤		非常勤		言語聴覚士	常勤	5 名	常勤	4 名	非常勤		非常勤		ソーシャルワーク従事者	常勤	5 名	常勤	6 名	非常勤		非常勤	
	平成27年度		平成28年度 (4月から9月まで)																																																										
医療従事者	専従医師	常勤	1 名	常勤	1 名																																																								
		非常勤	1 名	非常勤	2 名																																																								
	(うちリハ専門医)	常勤	1 名	常勤	1 名																																																								
		非常勤	1 名	非常勤	2 名																																																								
	理学療法士	常勤	37 名	常勤	39 名																																																								
		非常勤		非常勤																																																									
	作業療法士	常勤	12 名	常勤	13 名																																																								
非常勤			非常勤																																																										
言語聴覚士	常勤	5 名	常勤	4 名																																																									
	非常勤		非常勤																																																										
ソーシャルワーク従事者	常勤	5 名	常勤	6 名																																																									
	非常勤		非常勤																																																										
医療施設	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設基準</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td><input checked="" type="checkbox"/>脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input checked="" type="checkbox"/>運動器リハビリテーション料 (I)</td> </tr> </tbody> </table>	施設基準			<input checked="" type="checkbox"/> 脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)		<input checked="" type="checkbox"/> 運動器リハビリテーション料 (I)																																																						
施設基準																																																													
	<input checked="" type="checkbox"/> 脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)																																																												
	<input checked="" type="checkbox"/> 運動器リハビリテーション料 (I)																																																												
<p>※指定後の診療体制や地域支援を実施する専門スタッフの充足予定等を記入してください。</p> <p>(リハビリテーションに関して、外来および入院での対応が可能。入院では主に急性期から回復期を担い、他医療機関からの受け入れも積極的に行っている。維持期では通院のほか、訪問や通所サービスを展開し、法人内のみならず地域の医療機関ならびに介護事業所との連携強化に努めている。 リハビリテーション科専門医をはじめ、地域支援を行うためのリハビリテーション専門職を配置し、地域や関係機関からの介入依頼や講師派遣を可能としている。)</p>																																																													

② 連携体制					
他の医療機関、福祉施設等との連携、協力関係を有すること					
		平成27年度		→	平成28年度 (4月から9月まで)
医療機関との連携状況	紹介患者数	989	人		425 人
	(うちリハ部門)	151	人		75 人
	逆紹介患者数	958	人		518 人
	(うちリハ部門)	17	人		12 人
	紹介率	12.9	%	→	12 %
	(うちリハ部門)	2	%	→	2.1 %
	逆紹介率	12.5	%	→	14.7 %
	(うちリハ部門)	0.2	%	→	0.3 %
福祉施設等との連携状況	連携施設数	11	施設	→	13 施設
	(うちリハ部門)	4	施設	→	5 施設
<p>※急性期、回復期、維持期の流れを踏まえたリハビリテーションにおける連携状況を記入してください。</p> <p>(脳卒中をはじめ、骨折や廃用症候群などのリハビリテーションを早期に開始するため、他の医療機関からの相談・依頼への返答および転院までの日数の短縮化に努めている。連携医療機関には定期的に訪問し、当院の医療機能の紹介、連携について説明・相談を行っている。)</p>					
③ 相談体制					
地域の医療機関、福祉施設等からのリハビリテーションに関する相談等に応じ、必要な情報を提供できる体制にあること					
相談窓口設置の有無		取組状況			
有		医療連携室・相談室には社会福祉士6名と看護師1名を配置し、地域の医療機関や介護事業所、福祉施設などに対して窓口を明確にしている。			
無		また、必要に応じて患者の自宅や医療機関、介護施設へ訪問し、地域のケアマネジャーや関係職種との協力・連携に努めている。 リハビリテーションに関連して、身体障害者手帳や精神保健福祉手帳(高次脳機能障害)などの申請に必要な診断や書類作成などの要請にも応えている。			
④ 研修体制					
地域のリハビリテーションに携わる従事者、家族の会、又はボランティア等関係団体に対し、必要な研修を実施できる体制にあること					
研修実施の有無		取組状況			
有		平成28年度(4月～11月)は、地域のリハビリテーション関係職種向けに計8回の研修会を主催し、331名の参加があった。 講師派遣は平成27年度に計7回の講師派遣を行った。対象はリハビリテーション関係職種のほか、高次脳機能障害の当事者・家族会などであった。			
無		講師については、当院に所属するリハビリテーション科専門医、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士のほか、療法士を養成する大学や地域の医療機関などに所属する方々(6名)にも協力いただいている。			